



# ポイントツーポイント レイヤ2サービス コマンド

---

このモジュールでは、レイヤ2バーチャルプライベートネットワーク（VPN）の設定、モニタ、およびトラブルシューティングに使用するコマンドについて説明します。

ポイントツーポイント レイヤ2サービスの概念、設定作業、および例の詳細については、『Cisco NCS 5000 シリーズルータ向け L2VPN およびイーサネットサービスのコンフィギュレーションガイド』の「Implementing Point-to-point Layer 2 Services」の章を参照してください。

- [interface \(p2p\)](#) , 2 ページ
- [l2transport](#), 4 ページ
- [l2vpn](#), 6 ページ
- [p2p](#), 7 ページ
- [show l2vpn](#), 8 ページ
- [show l2vpn collaborators](#), 10 ページ
- [show l2vpn database](#), 12 ページ
- [show l2vpn forwarding](#), 15 ページ
- [show l2vpn index](#), 18 ページ
- [show l2vpn resource](#), 20 ページ
- [show l2vpn trace](#), 22 ページ
- [show l2vpn xconnect](#), 25 ページ
- [xconnect group](#), 28 ページ

## interface (p2p)

接続回線を設定するには、p2p コンフィギュレーション サブモードで **interface** コマンドを使用します。デフォルトの動作に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**interface type interface-path-id l2transport**

**no interface type interface-path-id l2transport**

### 構文の説明

<i>type</i>	インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>interface-path-id</i>	物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されている可能性があるすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 <b>show interfaces</b> コマンドを使用します。ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

p2p コンフィギュレーション サブモード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り、書き込み

## 例

次に、TenGigE インターフェイスで接続回線を設定する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
RP/0/RP0/CPU0:router(config)# interface TenGigE 0/0/0/10.20 12transport
RP/0/RP0/CPU0:router(config-subif)# encaps dot1ad 3000
RP/0/RP0/CPU0:router(config-subif)# commit
RP/0/RP0/CPU0:router(config-subif)#
```

# l2transport

物理インターフェイスをレイヤ2 転送モードで動作するように設定するには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで `l2transport` コマンドを使用します。デフォルトの動作に戻すには、このコマンドの `no` 形式を使用します。

## `l2transport`

### `no l2transport`

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト      なし

コマンド モード      インターフェイス コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `l2transport` コマンドとこれらの設定項目は、互いに排他的です。

- IPv4 アドレスと L3 機能の設定
- IPv4 のイネーブル化と L3 機能の設定
- バンドルのイネーブル化コンフィギュレーション
- L3 サブインターフェイス
- レイヤ 3 QoS ポリシー



(注) インターフェイスまたは接続がレイヤ2でスイッチングされるように設定した後は、`ipv4 address` などのコマンドが使用できなくなります。インターフェイスにルーティング コマンドを設定した場合、`l2transport` は拒否されます。

## タスク ID

## タスク ID

## 動作

l2vpn

読み取り、書き込み

## 例

次に、いくつかの異なるモードでインターフェイスまたは接続をレイヤ2スイッチドとして設定する例を示します。

イーサネットポートモード：

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
RP/0/RP0/CPU0:router(config)# interface TenGigE 0/0/0/10
RP/0/RP0/CPU0:router(config-if)# l2transport
```

イーサネット VLAN モード：

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
RP/0/RP0/CPU0:router(config)# interface TenGigE 0/0/0/0.1 l2transport
RP/0/RP0/CPU0:router(config-if)# encapsulation dot1q 10
```

イーサネット VLAN モード (QinQ)：

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
RP/0/RP0/CPU0:router(config)# interface TenGigE 0/0/0/0.1 l2transport
RP/0/RP0/CPU0:router(config-if)# encapsulation dot1q 10 second-dot1q 11
```

# l2vpn

L2VPN コンフィギュレーション モードを開始するには、XR コンフィギュレーション モードで l2vpn コマンドを使用します。デフォルトの動作に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**l2vpn**

**no l2vpn**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

XR コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

## タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り、書き込み

## 例

次に、L2VPN コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
RP/0/RP0/CPU0:router (config)# l2vpn
RP/0/RP0/CPU0:router (config-l2vpn)#
```

# p2p

ポイントツーポイントの相互接続を設定し、p2p コンフィギュレーション サブモードを開始するには、L2VPN xconnect モードで p2p コマンドを使用します。デフォルトの動作に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**p2p** *xconnect-name*

**no p2p** *xconnect-name*

構文の説明

*xconnect-name* (任意) ポイントツーポイント相互接続の名前を設定します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

L2VPN xconnect

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ポイントツーポイント相互接続ストリングの名前は、自由形式の説明ストリングです。

タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り、書き込み

例

次に、ポイントツーポイントの相互接続を設定する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
RP/0/RP0/CPU0:router(config)# l2vpn
RP/0/RP0/CPU0:router(config-l2vpn)# xconnect group XCON1
RP/0/RP0/CPU0:router(config-l2vpn-xc)# p2p XCON1_P2P3
RP/0/RP0/CPU0:router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface TenGigE0/0/0/0
RP/0/RP0/CPU0:router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface TenGigE0/0/0/8
RP/0/RP0/CPU0:router(config-l2vpn-xc-p2p)# commit
```

# show l2vpn

L2VPN 情報を表示するには、XR EXEC モードで **show l2vpn** コマンドを使用します。

## show l2vpn

### 構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

XR EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り

### 例

次に、show l2vpn コマンドによる出力例を示します。この出力には、グローバルに設定された機能ステータスの概要が示されます。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn

Mon Oct 12 14:14:48.869 UTC
HA role      : Active
ISSU role    : Primary
Process FSM  : PrimaryActive
-----
PW-Status:  enabled
PW-Grouping: disabled
Logging PW:  disabled
Logging BD state changes: disabled
Logging VFI state changes: disabled
```

```
Logging NSR state changes: disabled  
TCN propagation: disabled  
PW OAM transmit time: 30s
```

# show l2vpn collaborators

l2vpn\_mgr とその他のプロセスとの間の、プロセス間通信接続のステートに関する情報を表示するには、XR EXEC モードで show l2vpn collaborators コマンドを使用します。

## show l2vpn collaborators

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

XR EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り、書き込み

### 例

次に、show l2vpn collaborators コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn collaborators
Mon Oct 12 14:14:57.373 UTC
```

```
L2VPN Collaborator stats:
Name          State      Up Cnts    Down Cnts
-----
LSD           Up         1          0
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 1 : *show l2vpn collaborators Field Descriptions*

フィールド	説明
Name	l2vpn_mgr と対話するタスクの短縮名。
State	l2vpn_mgr と他のプロセスとの間に作業接続があるかどうかを示します。
Up Cnts	l2vpn_mgr と他のプロセスとの間の接続が正常に確立された回数。
Down Cnts	l2vpn_mgr と他のプロセスとの間の接続が失敗または中断した回数。

## show l2vpn database

L2VPN データベースを表示するには、XR EXEC モードで `show l2vpn database` コマンドを使用します。

**show l2vpn database {ac| node}**

### 構文の説明

<b>ac</b>	L2VPN 接続回線 (AC) データベースを表示します。
<b>node</b>	L2VPN ノードのデータベースを表示します。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

XR EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り

### 例

次に、`show l2vpn database ac` コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn database ac
Mon Oct 12 14:15:47.731 UTC
Bundle-Ether1:
  Other-Segment MTU: 0
  Other-Segment status flags: 0x3
```

```

    Signaled capability valid: Yes
    Signaled capability flags: 0x360018
    Configured capability flags: 0x0
    XCID: 0xa0000001
    PSN Type: Undefined
    ETH data:
      Xconnect tags: 0
      Vlan rewrite tag: 0
AC defn:
  ac-iframe: Bundle-Ether1
  capabilities: 0x00368079
  extra-capabilities: 0x00000000
  parent-ifh: 0x00000000
  ac-type: 0x04
  interworking: 0x00
AC info:
  seg-status-flags: 0x00000003
  segment mtu/l2-mtu: 1500/1514

TenGigE0/0/0/0.1:
  Other-Segment MTU: 0
  Other-Segment status flags: 0x3
  Signaled capability valid: Yes
  Signaled capability flags: 0x360018
  Configured capability flags: 0x0
  XCID: 0xea
  PSN Type: Undefined
  ETH data:
    Xconnect tags: 0
    Vlan rewrite tag: 0
AC defn:
  ac-iframe: TenGigE0_0_0_0.1
  capabilities: 0x00368079
  extra-capabilities: 0x00000000
  parent-ifh: 0x08000018
  ac-type: 0x15
  interworking: 0x00
AC info:
  seg-status-flags: 0x00000003
  segment mtu/l2-mtu: 1504/1518

```

次に、show l2vpn database node コマンドによる出力例を示します。

```

RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn database node
Mon Oct 12 14:16:30.540 UTC
Node ID: 0x1000 (0/RP0/CPU0)
MA: vlan_ma      inited:1, flags:0x 2, circuits:3744
AC event trace history [Total events: 4]
-----
Time            Event                               Num Rcvd   Num Sent
====            =====
10/12/2015 12:46:00 Process joined                       0           0
10/12/2015 12:46:00 Process init success                  0           0
10/12/2015 12:46:00 Replay start rcvd                     0           0
10/12/2015 12:46:00 Replay end rcvd                       0           0

MA: ether_ma     inited:1, flags:0x 2, circuits:2
AC event trace history [Total events: 4]
-----
Time            Event                               Num Rcvd   Num Sent
====            =====
10/12/2015 12:41:19 Process joined                       0           0
10/12/2015 12:41:19 Process init success                  0           0
10/12/2015 12:41:19 Replay start rcvd                     0           0
10/12/2015 12:41:19 Replay end rcvd                       0           0

MA: atm_ma      inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: hdlc_ma     inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: fr_ma       inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: ppp_ma      inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: cem_ma      inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: vif_ma      inited:0, flags:0x 0, circuits:0

```

## show l2vpn database

```
MA: pwhe_ma      inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: nve_mgr      inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: mstp         inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: span         inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: erp          inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: erp_test     inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: mstp_test    inited:0, flags:0x 0, circuits:0
MA: evpn         inited:0, flags:0x 0, circuits:0
```

## show l2vpn forwarding

layer2\_fib マネージャからの転送情報を表示するには、XR EXEC モードで `show l2vpn forwarding` コマンドを使用します。

```
show l2vpn forwarding {counter| debug| detail| hardware| interface| location [ node-id ]| private}
```

### 構文の説明

<b>counter</b>	相互接続カウンタを表示します。
<b>debug</b>	デバッグ情報を表示します。
<b>detail</b>	layer2_fib マネージャからの詳細情報を表示します。
<b>hardware</b>	ハードウェア関連の layer2_fib マネージャ情報を表示します。
<b>interface</b>	一致 AC サブインターフェイスを表示します。
<b>location</b> <i>node-id</i>	指定した場所の layer2_fib マネージャ情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
<b>private</b>	出力には個人情報が含まれます。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード XR EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り

例

次に、show l2vpn forwarding コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn forwarding location 0/RP0/CPU0
Mon Oct 12 14:19:11.771 UTC
Segment 1                               Segment 2                               State
-----
Te0/0/0/0.234                           ac Te0/0/0/26.234                       UP
Te0/0/0/0.233                           ac Te0/0/0/26.233                       UP
Te0/0/0/0.232                           ac Te0/0/0/26.232                       UP
Te0/0/0/0.231                           ac Te0/0/0/26.231                       UP
Te0/0/0/0.230                           ac Te0/0/0/26.230                       UP
```

次に、show l2vpn forwarding counter location コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn forwarding counter location 0/RP0/CPU0
Mon Oct 12 14:18:01.194 UTC
Legend: ST = State, DN = Down
Segment 1                               Segment 2                               ST Byte
-----                               -----                               -
Te0/0/0/0.234                           ac Te0/0/0/26.234                       UP 15098997504
Te0/0/0/0.233                           ac Te0/0/0/26.233                       UP 15098997568
Te0/0/0/0.232                           ac Te0/0/0/26.232                       UP 15098997504
Te0/0/0/0.231                           ac Te0/0/0/26.231                       UP 15098997568
Te0/0/0/0.230                           ac Te0/0/0/26.230                       UP 15098997568
```

次に、show l2vpn forwarding summary location コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn forwarding summary location 0/RP0/CPU0
Mon Oct 12 14:18:25.838 UTC
To Resynchronize MAC table from the Network Processors, use the command...
l2vpn resynchronize forwarding mac-address-table location <r/s/i>

Major version num:1, minor version num:0
Shared memory timestamp:0xa41120d180
Global configuration:
Number of forwarding xconnect entries:1873
  Up:1873  Down:0
  AC-PW(atom):0 AC-PW(l2tpv2):0 AC-PW(l2tpv3):0
  AC-PW(l2tpv3-ipv6):0
  AC-AC:1873 AC-BP:0 (PWHE AC-BP:0) AC-Unknown:0
  PW-BP:0 PW-Unknown:0
  PBB-BP:0 PBB-Unknown:0
  EVPN-BP:0 EVPN-Unknown:0
  VNI-BP:0 VNI-Unknown:0
  Monitor-Session-PW:0 Monitor-Session-Unknown:0
Number of xconnects down due to:
  AIB:0 L2VPN:0 L3FIB:0 VPDN:0
Number of xconnect updates dropped due to:
  Invalid XID: 0 VPWS PW, 0 VPLS PW, 0 Virtual-AC, 0 PBB,
  0 EVPN
  0 VNI
Exceeded max allowed: 0 VPLS PW, 0 Bundle-AC
Number of p2p xconnects: 1873
Number of bridge-port xconnects: 0
Number of nexthops:0
```

```
Number of bridge-domains: 0
  0 with routed interface
  0 with PBB-EVPN enabled
  0 with EVPN enabled
  0 with p2mp enabled
Number of bridge-domain updates dropped: 0
Number of total macs: 0
  0 Static macs
  0 Routed macs
  0 BMAC
  0 Source BMAC
  0 Locally learned macs
  0 Remotely learned macs
Number of total P2MP Ptree entries: 0
Number of PWHE Main-port entries: 0
Number of EVPN Multicast Replication lists: 0 (0 default)
```

次に、show l2vpn forwarding detail location コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn forwarding detail location 0/RP0/CPU0
```

```
Mon Oct 12 14:18:47.187 UTC
Local interface: TenGigE0/0/0/0.234, Xconnect id: 0x1, Status: up
  Segment 1
    AC, TenGigE0/0/0/0.234, status: Bound
    Statistics:
      packets: received 238878391, sent 313445
      bytes: received 15288217024, sent 20060480
      packets dropped: PLU 0, tail 0
      bytes dropped: PLU 0, tail 0
  Segment 2
    AC, TenGigE0/0/0/26.234, status: Bound

Local interface: TenGigE0/0/0/0.233, Xconnect id: 0x2, Status: up
  Segment 1
    AC, TenGigE0/0/0/0.233, status: Bound
    Statistics:
      packets: received 238878392, sent 313616
      bytes: received 15288217088, sent 20071424
      packets dropped: PLU 0, tail 0
      bytes dropped: PLU 0, tail 0
  Segment 2
    AC, TenGigE0/0/0/26.233, status: Bound

Local interface: TenGigE0/0/0/0.232, Xconnect id: 0x3, Status: up
  Segment 1
    AC, TenGigE0/0/0/0.232, status: Bound
    Statistics:
      packets: received 238878391, sent 313476
      bytes: received 15288217024, sent 20062464
      packets dropped: PLU 0, tail 0
      bytes dropped: PLU 0, tail 0
  Segment 2
    AC, TenGigE0/0/0/26.232, status: Bound
```

## show l2vpn index

インデックス マネージャに関する統計情報を表示するには、XR EXEC モードで show l2vpn index コマンドを使用します。

**show l2vpn index [location| private]private**

### 構文の説明

<b>location</b>	(任意) 指定した場所のインデックス マネージャに関する統計情報を表示します。
<b>private</b>	(任意) 各プールに割り当てられたすべてのインデックスに関する詳細情報。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

XR EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り

## 例

次に、show l2vpn index コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn index
Mon Oct 12 14:20:20.218 UTC
Pool id: 0x0, App: AC
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 32513
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 3745

Pool id: 0xffff80002, App: BD
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 8192
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 0

Pool id: 0xffff80003, App: MP2MP
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 65535
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 0

Pool id: 0xffff80004, App: RD
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 65536
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 0

Pool id: 0xffff80005, App: IFLIST
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 65535
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 1

Pool id: 0xffff80006, App: ATOM
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 131071
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 0

Pool id: 0xffff80007, App: PWGroup
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 65535
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 1

Pool id: 0xfffd0000, App: Global
  Max number of ID mgr instances: 1
  ID mgr instances in use: 1
  Pool size: 16383
  zombied IDs: 0
  allocated IDs: 2
```

# show l2vpn resource

L2VPN プロセスのメモリ ステータスを表示するには、XR EXEC モードで show l2vpn resource コマンドを使用します。

## show l2vpn resource

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

XR EXEC モード

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り

### 例

次に、show l2vpn resource コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn resource
Mon Oct 12 14:21:54.670 UTC
Memory: Normal
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 2 : *show l2vpn resource* コマンド フィールドの説明

フィールド	説明
Memory	メモリのステータスを表示します。

## show l2vpn trace

L2VPNに関するトレース データを表示するには、XR EXEC モードで show l2vpn trace コマンドを使用します。

**show l2vpn trace [checker| file| hexdump| last| location| reverse| stats| tailf| unique| usec| verbose| wide| wrapping]**

### 構文の説明

<b>checker</b>	L2VPN Uberverifier に関するトレース データを表示します。
<b>file</b>	指定したファイルに関するトレース データを表示します。
<b>hexdump</b>	トレース データを 16 進数形式で表示します。
<b>last</b>	最後の <n> 個のエントリを表示します。
<b>location</b>	指定した場所に関するトレース データを表示します。
<b>reverse</b>	最初に最新のトレースを表示します。
<b>stats</b>	トレース統計情報を表示します。
<b>tailf</b>	新たに追加されたトレースを表示します。
<b>unique</b>	一意のエントリとそのカウントを表示します。
<b>usec</b>	タイムスタンプ付きの usec の詳細情報を表示します。
<b>verbose</b>	内部デバッグ情報を表示します。
<b>wide</b>	バッファ名、ノード名、tid を除くトレース データを表示します。
<b>wrapping</b>	ラッピング エントリを表示します。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード XR EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り

例

次に、show l2vpn trace コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn trace
Mon Oct 12 14:22:09.082 UTC
188 unique entries (2596 possible, 0 filtered)
Oct 12 12:37:44.197 l2vpn/policy 0/RP0/CPU0 1# t4349 POLICY:320: l2vpn_policy_reg_agent
started - route_policy_supported=False, forward_class_supported=False
Oct 12 12:39:21.870 l2vpn/fwd-pd 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_PD:731:
Oct 12 12:39:21.883 l2vpn/fwd-err 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_ERR|ERR:76: Major version mis-match,
  SHM: 0x0 Expected: 0x1
Oct 12 12:39:21.883 l2vpn/fwd-err 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_ERR|ERR:87: Magic number mis-match,
  SHM: 0x0 Expected: 0xa7b6c3d8
Oct 12 12:39:21.884 l2vpn/err 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_ERR|ERR:76: Major version mis-match,
  SHM: 0x0 Expected: 0x1
Oct 12 12:39:21.884 l2vpn/err 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_ERR|ERR:87: Magic number mis-match,
  SHM: 0x0 Expected: 0xa7b6c3d8
Oct 12 12:39:21.890 l2vpn/fwd-detail 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_DETAIL:263: PWGROUP Table init
succeeded
Oct 12 12:39:21.890 l2vpn/fwd-detail 0/RP0/CPU0 2# t5664 FWD_DETAIL:416: l2tp session table
rebuilt
Oct 12 12:39:21.903 l2vpn/fwd-common 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_COMMON:39: L2FIB_OBJ_TRACE:
trace_buf=0x7d48e0
Oct 12 12:39:25.613 l2vpn/issu 0/RP0/CPU0 1# t5664 ISSU:790: ISSU - imdr init called;
'infra/imdr' detected the 'informational' condition 'the service is not supported in the
node'
Oct 12 12:39:25.613 l2vpn/issu 0/RP0/CPU0 1# t5664 ISSU:430: ISSU - attempt to start
COLLABORATOR wait timer while not in ISSU mode
Oct 12 12:39:25.638 l2vpn/fwd-common 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_COMMON:4241: show edm thread
initialized
Oct 12 12:39:25.781 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_MAC|ERR:783: Mac aging init
Oct 12 12:39:25.781 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 2# t5664 FWD_MAC:1954: l2vpn_gsp_cons_init
returned Success
Oct 12 12:39:25.781 l2vpn/err 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_MAC|ERR:783: Mac aging init
Oct 12 12:39:25.782 l2vpn/fwd-aib 0/RP0/CPU0 4# t5664 FWD_AIB:446: aib connection opened
successfully
Oct 12 12:39:25.783 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 2# t5664 FWD_MAC:2004: Client successfully
joined gsp group
Oct 12 12:39:25.783 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_MAC:781: Initializing the txlist
IPC thread
Oct 12 12:39:25.783 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_MAC:3195: gsp_optimal_msg_size =
31264 (real: True)
```

## show l2vpn trace

```
Oct 12 12:39:25.783 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 1# t5664 FWD_MAC:626: Entering mac aging timer
init
Oct 12 12:39:25.783 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 1# t7519 FWD_MAC:725: Entering event loop for
mac txlist thread
Oct 12 12:39:25.797 l2vpn/fwd-mac 0/RP0/CPU0 1# t4222 FWD_MAC:2221: learning_client_colocated
0, is_client_netio 1
```

## show l2vpn xconnect

設定されている相互接続に関する簡潔な情報を表示するには、XR EXEC モードで show l2vpn xconnect コマンドを使用します。

**show l2vpn xconnect [brief| detail| encapsulation| group| groups| interface| location| neighbor| standby| state| summary| type locally-switched]**

### 構文の説明

<b>brief</b>	(任意) カプセル化の簡潔な情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) 詳細情報を表示します。
<b>encapsulation</b>	(任意) カプセル化タイプをフィルタリングします。
<b>group</b>	(任意) 指定したグループのすべての相互接続を表示します。
<b>groups</b>	(任意) すべてのグループ情報を表示します。
<b>interface</b>	(任意) インターフェイスおよびサブインターフェイスをフィルタリングします。
<b>location</b>	(任意) 場所固有の情報を表示します。
<b>neighbor</b>	(任意) ネイバーをフィルタリングします。
<b>private</b>	(任意) プライベート情報を表示します。
<b>standby</b>	(任意) スタンバイ ノード固有の情報を表示します。
<b>state</b>	(任意) 次の xconnect ステート タイプをフィルタリングします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• up</li> <li>• down</li> </ul>
<b>summary</b>	(任意) AC マネージャ データベースの AC 情報を表示します。
<b>type</b>	(任意) ローカル スイッチング相互接続タイプをフィルタリングします。

コマンド デフォルト なし

コマンド モード XR EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

特定の相互接続がコマンドに指定されている場合は、その相互接続のみが表示されます。それ以外の場合は、すべての相互接続が表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り、書き込み

例

次に、show l2vpn xconnect コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show l2vpn xconnect
Mon Oct 12 14:22:20.566 UTC
Legend: ST = State, UP = Up, DN = Down, AD = Admin Down, UR = Unresolved,
        SB = Standby, SR = Standby Ready, (PP) = Partially Programmed
XConnect
Group      Name      ST      Description      ST      Description      ST
-----
XC         XC         UP      BE1              UP      BE2              UP
-----
XCON31    XCON1_P2P1 UP      Te0/0/0/0.1     UP      Te0/0/0/26.1    UP
-----
XCON32    XCON1_P2P2 UP      Te0/0/0/0.2     UP      Te0/0/0/26.2    UP
-----
XCON33    XCON1_P2P3 UP      Te0/0/0/0.3     UP      Te0/0/0/26.3    UP
-----
XCON34    XCON1_P2P4 UP      Te0/0/0/0.4     UP      Te0/0/0/26.4    UP
-----
XCON35    XCON1_P2P5 UP      Te0/0/0/0.5     UP      Te0/0/0/26.5    UP
-----
XCON36    XCON1_P2P6 UP      Te0/0/0/0.6     UP      Te0/0/0/26.6    UP
-----
XCON37    XCON1_P2P7 UP      Te0/0/0/0.7     UP      Te0/0/0/26.7    UP
-----
XCON38    XCON1_P2P8 UP      Te0/0/0/0.8     UP      Te0/0/0/26.8    UP
-----
```

次に、show run l2vpn コマンドによる出力例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# show run l2vpn
Mon Oct 12 14:23:24.723 UTC
l2vpn
 xconnect group XC
  p2p XC
   interface Bundle-Ether1
   interface Bundle-Ether2
  !
```

```

!
xconnect group XCON31
 p2p XCON1_P2P1
   interface TenGigE0/0/0/0.1
   interface TenGigE0/0/0/26.1
!
!
xconnect group XCON32
 p2p XCON1_P2P2
   interface TenGigE0/0/0/0.2
   interface TenGigE0/0/0/26.2
!
!
xconnect group XCON33
 p2p XCON1_P2P3
   interface TenGigE0/0/0/0.3
   interface TenGigE0/0/0/26.3

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 3 : *show l2vpn xconnect* コマンド フィールドの説明

フィールド	説明
XConnect Group	設定済みのすべての相互接続グループを表示します。
Group	相互接続グループの番号を表示します。
Name	相互接続グループの名前を表示します。
Description	相互接続グループの説明を表示します。説明が設定されていない場合は、インターフェイスタイプが表示されます。
ST	相互接続グループのステート : up (UP) または down (DN) です。

## xconnect group

相互接続グループを設定するには、L2VPN コンフィギュレーション モードで `xconnect group` コマンドを使用します。デフォルトの動作に戻すには、このコマンドの `no` 形式を使用します。

`xconnect group group-name`

`no xconnect group group-name`

### 構文の説明

*group-name* 自由形式の 32 文字ストリングを使用して、相互接続グループ名を設定します。

### コマンド デフォルト

なし

### コマンド モード

L2VPN コンフィギュレーション

### コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。



(注) ボックスごとに最大 16K の相互接続を設定できます。

### タスク ID

タスク ID	動作
l2vpn	読み取り、書き込み

### 例

次に、XCON1 のすべての相互接続をグループ化する例を示します。

```
RP/0/RP0/CPU0:router# configure
```

```
RP/0/RP0/CPU0:router(config)# l2vpn  
RP/0/RP0/CPU0:router(config-l2vpn)# xconnect group XCON1
```

